

【サステナビリティ基本方針】

当社グループは、「挑戦」「多様性」「持続可能性」をすべての事業を行う上で最も大切にしている価値観として捉えており、企業の社会的責任を果たしていくことはもちろんのこと、環境・経済・社会の課題解決と事業による経済的価値の創造の両立、すなわちCSV（社会と企業の共通価値の創造）を意識した活動を通じて、自社と社会の持続的な発展を目指し、社会から認められるサステナブル企業として中長期的な企業価値向上に努めてまいります。

サステナビリティの推進は、サステナビリティ推進委員会を中心に、2015年に国連全加盟国（193カ国）によって採択されたSDGsの最終年である2030年における当社のありたい姿を、以下の6つの重点領域として定め、重点領域を支える「事業活動の基盤」分野も含め、ESG観点を意識した中長期目標を設定し、社会の持続可能な発展と自社の成長を両立させるべく、サステナビリティ推進委員会を中心に全社的に取り組んでまいります。

1. 食と健康を通じた楽しいライフスタイルの提案
2. 環境に配慮した事業プロセスの追求
3. 責任ある原材料調達の実現
4. 安全・安心で高品質な製品・サービスの提供
5. 多様な人々が活躍できる職場環境の推進
6. 地域社会との共生

また、投資家とのサステナビリティに関する建設的な対話を推進する観点から、サステナビリティに関する開示を行ってまいります。特に、気候変動に係るリスク及び収益機会が当社グループの事業活動や収益等に与える影響について、必要なデータの収集と分析を行い、国際的に確立された開示の枠組みであるTCFDまたはそれと同等の枠組みに基づく開示をしてまいります。

【サステナビリティ推進体制】

当社は、「サステナビリティ推進委員会」を設置し、サステナビリティへの取組を全社的に検討・推進しております。

また、「コンプライアンス委員会」「リスク管理委員会」と有機的に連動することにより社会から信頼される企業としてガバナンス体制を徹底してまいります。

サステナビリティ推進委員会は、執行役員社長を委員長、関連部門の担当執行役員を中心とする委員をメンバーとし、解決すべき社会的課題（ESG関連事項等）について、当社の事業活動を通じて持続可能な社会の実現および企業価値の向上を目指すため、サステナビリティに関する全社方針、目標、基本計画の策定、それらを実践するための体制の構築・整備、具体的な施策の決定、各種施策のモニタリングを行うとともに、各種施策の進捗を適宜取締役会に報告します。重要な事項については、サステナビリティ推進委員会で審議・決定の上、取締役会で審議・決議します。